

旅愁の 犬童球溪 遺曲

# 行く秋

(ピアノ伴奏譜付)

# 散る紅葉

(ハ-モニカ略譜付)

犬童球溪 作詞曲

久保田つとむ 補作編曲

宮原義見 編

熊本上通 熊本コロムビア 発行

## 行く秋

(静かに)

Adagio Calmando

犬童球溪 作詞・曲  
久保田つとむ 補作編曲

The musical score is written for piano and voice. It consists of five systems of staves. The first system shows the piano introduction in 4/4 time, with dynamics markings of *mp* and *mf*. The second system continues the piano accompaniment. The third system introduces the vocal line with the lyrics 'らぐはのなは' and piano accompaniment. The fourth system continues the vocal line with 'うらがれて' and piano accompaniment. The fifth system concludes the piece with piano accompaniment.

か さ ね の む し も

こ え よ わ し

あ ま ど を た た く

こ が ら し に

お つ る こ の は の

Lamento (悲しげな表情で)

お と さ び し

行く秋

作詞・曲 犬童球溪  
補作編曲 久保田つとむ

一、千草の花は うら枯れて

垣根の虫も 声よわし

雨戸をたたく 風に

落つる木葉の 音淋し

二、更けたる夜半の 文机に

通う時雨の 音淋し

うれしと思う ひまもなく

暮れ行く秋を 惜しむかな

以上

## 編者のことば

私は此の曲を世に送るに当り、聊か発刊に至るまでの経緯を物語り、世の音楽愛好者諸彦の御諒解を求め、然して先生の光輝ある藝術的作品の權威を汚染することのないよう、一言を呈して置き度い、先生は私の師範学校在学中の保証人代理として教育して戴いた恩師であり、勿論先生が本邦周知の大音楽家であられたことは今更課々の要はあるまい、其後私は体育専門の学校を卒えて該校教官として勤めたがその担当する学科が音楽との關係が密接であつたので、先生との交渉は師範学校卒業後も益々その深さを益して行つた。偶々私は日本体育会派遣生として西歐に旅立つことになつたが、先生は此の首途に、お祝と言つて素晴らしい曲三つを贈与された其の後幾星霜、私は豫々、此の曲の公開をねらつていたが、残念ながらその機を得ず、剩え、肌身離たず所持した此の尊い遺稿も敗戦一朝の嵐に、一芥の紙片として満洲原野に散らすことを餘儀なくされた。然し、幸なるかな、その原稿は無くなつてもその歌詞は私の脳裡に明確に刻み込まれているし、メロデーの如きも略々、その大要を把握している、今日に至りこれを此儘放置することは先生の御厚恩に對しても、又一面本邦音楽界の大損失であるということが私の心の中に昂まつて来た、私は愈々意を決して公刊に着手し、斯界の權威作曲家久保田つとむ氏にその補曲伴奏を依頼し漸やく刊行の運びに至つたものである。

思えば空手空拳、將に眞裸になつて満洲を引揚げた私の七八年の忍従と辛苦は報いられ、その一端が本書として現はれたことを思うと自分ながら痛快そのものであり且は亦此の刊行は一面私の昔つた文化活動への今後のスタートであるとも言える

昭和二十九年秋十月

編者誌

### 編者略歴

大正五年	熊本県第一師範学校卒業
大正拾壹年	日本体育大学前身体育専門学校卒業
大正十五年	京都女子高等専門学校教授 日本体育会派遣西歐留学
帰朝後	日本体育専門学校教授
終戦直前	満洲国立奉天師道学校教務主任兼任三等
昭和二十八年	熊本県球磨郡久米村教育委員会教育長 現在に至る

※ 此の曲は詞・曲共その版權を編者に於て保有す転載復寫嚴禁

昭和29.11.1印刷 { 版權 } 編集兼発行者  
昭和29.11.23発行 { 所有 } 熊本県球磨郡久米村1418 熊本・熊本・ロムビア発行  
宮原義見 上通

定價 50.00